

(4年)

水のゆくえ (3)

5/11 水のゆくえ

雨 → 水たまり → 土の中へしみこむ。

かわく(?)

ぬれぞうきん → かわく(?)

水そうの水 → 水がへって水面が下がる。

どこへもしみこまない。

水は、どこへ?

<問題>

ようきにためた水は、時間がたつと、どうして量がへるのだろうか。

<予想>

水が空気中に出ていくからだと思う。

確かめるには...

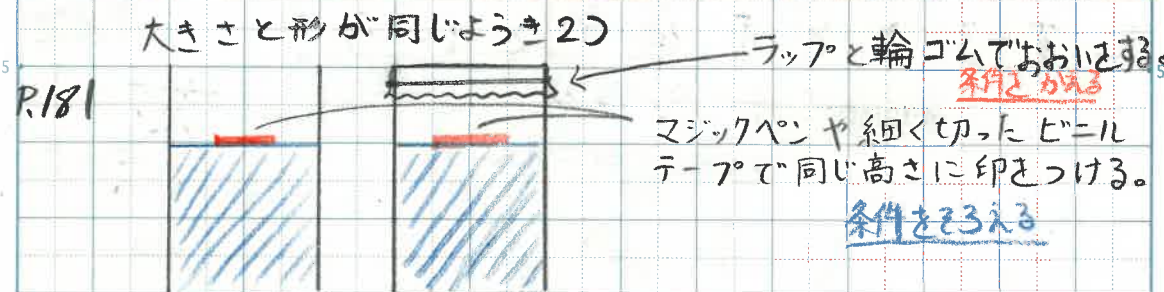
<方法>

もしも、空気中に出ていくなら、おおいをすれば、水はへらないはずだ。



<実験>

水をためたようきにおおいをしないものとしたもので、水の量のへり方を調べる。



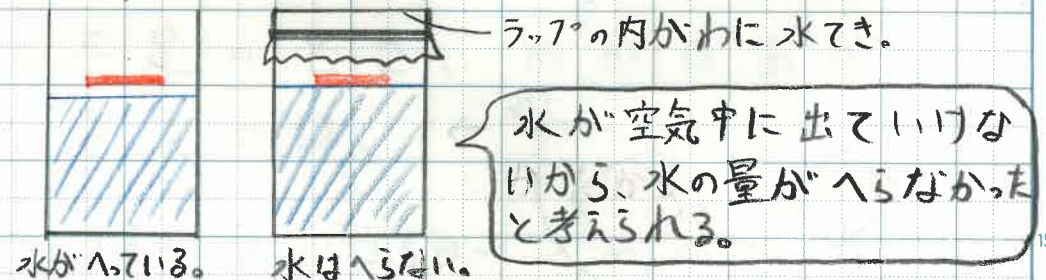
印をつけた高さまで水を入れる。

条件をそろえる

5/13

<結果>

部屋の中において、2~3日後に水の量のへり方を調べる。



<結論>

ようきにためた水は、時間がたつと、少しずつ空気中に出ていくので、量がへる。

水のゆくえ (3)

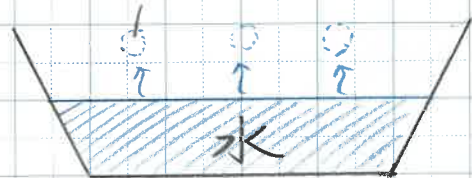
5/13

水は、あたためなくても、水蒸気になって空気中に出ていく。

液体から気体に水のすがたが変化することを蒸発という。

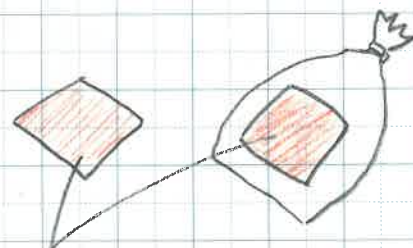
(じょうほう)

水蒸気(目に見えない)



蒸
発
じょうほう

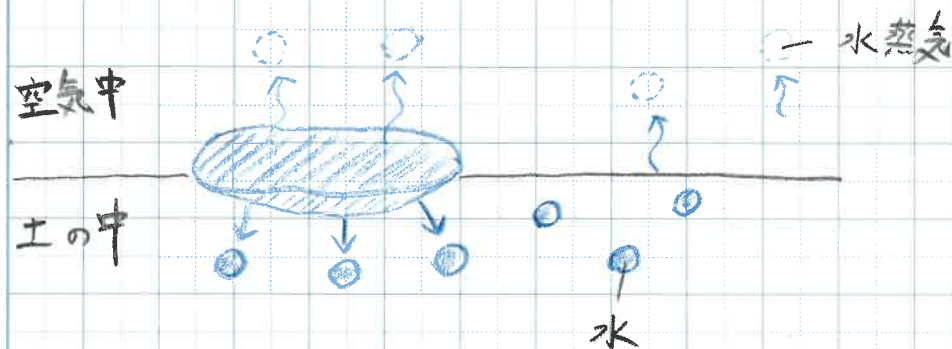
(他の実験方法)



ぬれたハンカチ

一方をビニル袋に入める

水は、水面からだけでなく、地面からも蒸発している。



● 水分子の話も思い出してみよう!

P.184

。水不足のとき、田がひあがって
しまうのは、

。せんとく物をほすと、しばらく
してかわくのは、